

## 「平江図拓本」が文・法学部棟にお目見え

このほど、文・法学部棟正面玄関に、「平江図拓本」（平江図を写したもの）がお目見えし、平成 29 年 11 月 5 日のホームカミングデーに合わせ、同所で「平江図拓本」作成のための補助金目録の贈呈式が行われました。武夫原会の学部支援のひとつ。

「平江図」は、中国・南宋時代の紹定 2 年（1229）に作成された石碑から採取された拓本で、高さ約 280 cm、幅約 140 cm の大きさです。当時の平江府（現在の江蘇省蘇州市）の城郭内の地図で、現存する石碑の都市図としては中国最古のものに属します。宋代の城郭都市の具体的な相貌を知ることができる貴重な資料です。

